

## 元 元 気に戻ってくる日を願って

サケの稚魚放流会

2月15日、(独)水資源機構の主催でサケの稚魚放流会が利根大堰で行われました。

この日のために自宅や学校でサケの稚魚を卵から大切に育ててきた北小学校2年生の子供たち。数匹ずつコップに採り、「大きくなってね」「また戻ってきてね」と声を掛けながらやさしく川へ放ちました。そして笑顔で手を振りながら、サケの稚魚が無事に泳ぎだす様子をいつまでも見守っていました。



行田中学校 広報紙「こだま」が毎日新聞社賞を受賞

## 第 66回全国小・中学校PTA新聞コンクール」の入賞を報告

3月6日、行田中学校PTA広報部の皆さんが市役所を訪れ、毎日新聞社・全国新聞教育研究協議会主催の第66回全国小・中学校PTA新聞コンクールで入賞したことを工藤市長および森教育長に報告しました。

このたび、同校PTA広報部が発行している広報紙「こだま」がPTA広報の部全国第二席となる毎日新聞社賞を受賞。「こだま」を手にした工藤市長が「写真が多く使われていて躍動感がある。皆さんが力を合わせて良いものを作ろうという気持ちが伝わってくる」と感想を述べると、広報部の皆さんは「これからも地域の方々にも楽しく読んでもらえるような紙面づくりを心掛けていきたい」と抱負を語りました。



ぎょうだ春の豆まつり

## 行 田在来青大豆×忍城おもてなし甲冑隊「あおだいのうた」初披露

3月19日、忍城址で「行田在来青大豆」のPRイベント「ぎょうだ春の豆まつり」が開催されました。

イベントでは忍城おもてなし甲冑隊が青大豆PRソング「あおだいのうた」を初披露。歌と踊りのパフォーマンスに来場者も一体となり、大いに盛り上がりました。また、会場では青大豆の入ったせんべい、大豆粉を使ったマドレーヌやパウンドケーキなどの商品が並び、多くの人買い求め、賑わっていました。

金融のプロが教える産業支援セミナー

## 金 融のプロが農業支援について説明

2月16日、VIVAぎょうだ学習室で「金融のプロが教える【農】から始まる産業支援セミナー『種まく人々』」が行われました。

これは、行田市農業青年会議所・武蔵野銀行・行田市の3者が主催したもので、武蔵野銀行の職員が、農業者への支援体制や地産地消の取り組みについて説明をしました。市内の農業者を中心に農・商・工業の事業者約30人が参加し、自身の事業の参考にしようと、熱心に耳に傾けていました。



横田大夢さんが工藤市長を訪問

## 横 田大夢さんがテニスの全国大会で優勝

2月16日、「U-15全国選抜ジュニアテニス選手権大会(第35回中牟田杯)」の男子シングルス部門で優勝した横田大夢さんが結果報告のため、工藤市長を訪問しました。

横田さんは平成25年にも「全日本ジュニアテニス選手権'13」の12歳以下の男子シングルスでも優勝しており、今回2回目の全国タイトルの獲得となります。工藤市長から祝福された横田さんは「高校でもテニスを続け、ジュニアの全米オープンに出場したいです」と次の目標を語ってくれました。



アーツ&クラフツinぎょうだ2017

## も のづくりを通じて充実した時間を

2月18日に牧禎舎で「アーツ&クラフツinぎょうだ2017」が開催されました。

アクセサリーや小物、楽器などさまざまな手作りの品の展示販売などが行われるこの催しは今年で6回目。今回はホットドックやロシア料理などの飲食店も増え、多くの人出で賑わいました。来場者はアーティストこだわりの品物を手にとって眺めたり、ワークショップで藍染めやパペット作りに挑戦したりと、思い思いに充実した時間を過ごすことができたようです。



行田市チャレンジショップ事業

## 忍 城下ぎょうだ懐かし屋」がオープン

3月1日、市のチャレンジショップ事業を活用した「忍城下ぎょうだ懐かし屋」がオープンしました。

「チャレンジショップ事業」とは、市が借り上げた空き店舗を創業希望者に貸し出し、一定期間営業する中で経営ノウハウを身に付けてもらうもの。「忍城下ぎょうだ懐かし屋」では、店主の栗原喜文さんが長年収集した懐かしいポスターやおもちゃなどのコレクションの展示や販売を行います。

【場所】 行田1-9(商工センター東側)

【営業時間】 午前11時～午後4時(水・木曜日を除く)